

入試分析－志願者数17.13%増

新規導入の全学部試験好評

平成19年度入学試験は、都市部の大規模大学で志願者数が増加した。本学においては、大学入試センター試験利用(前期・後期)入学試験、地区入学試験、一般(前期・後期)入学試験および二部一般入学試験における志願者数は、前年度比4634人増(17.13%増)の31688人となった。なお、試験区分別の志願者数は表のとおり。

地区入学試験は全国11会場で実施したが、本学と競合する他大学がより一層地方に試験会場を設置する傾向が強まる中、前年度比924人増(40.44%増)の3209人の志願者があった。

また、競合大学による地方試験あるいは全学部日程試験が2月初旬から中旬にかけて実施されたが、受験者にとっては後期に入学試験を実施している大規模大学への受験機会が大きな魅力ともなり、本学の一般後期入学試験は前年度比765人増(40.01%増)の2677人となった。

新たに一般前期入学試験に導入した全学部試験(文学部を除く)では、3540人の志願者を集めた。